

会計別の予算額

会計名	予算額		増減
	本年度	前年度	
一般会計	48億6,900万円	39億1,300万円	9億5,600万円
国民健康保険	8億4,136万円	8億1,783万円	2,353万円
老人保健	9億9,780万円	9億9,798万円	18万円
簡易水道	2億7,445万円	7億4,580万円	4億7,135万円
下水道	1億3,080万円	1億3,100万円	20万円
介護保険	5億6,175万円	5億6,512万円	337万円
計	76億7,516万円	71億7,073万円	5億 443万円

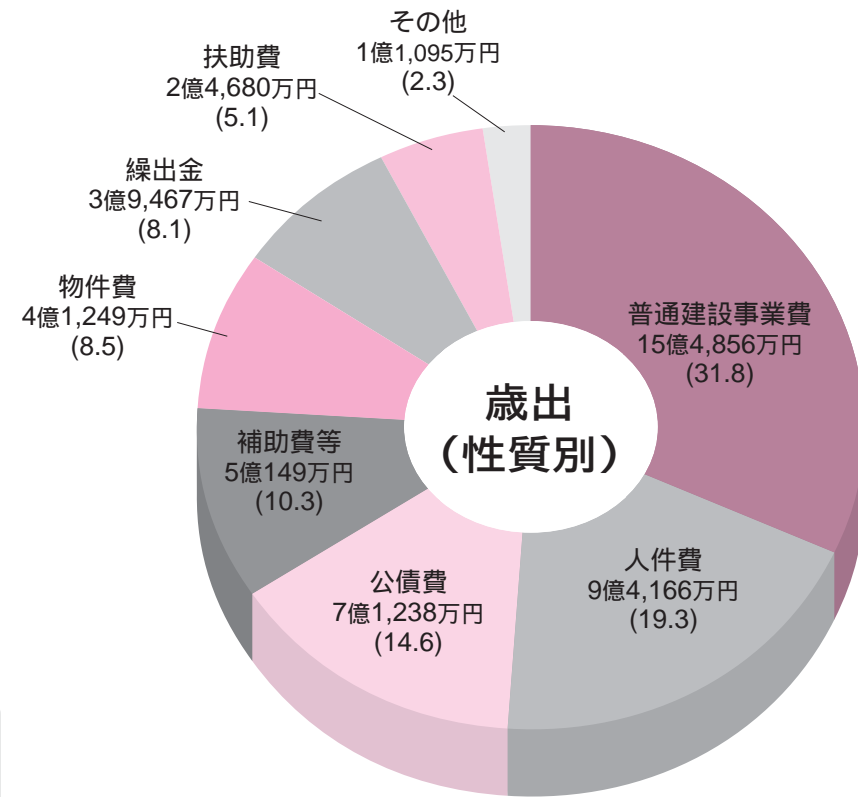
住田い

# まちづくり予算

ずっと暮らせる地域づくりのために

目的別にみると

項目	予算額	構成比
総務費	15億6,034万円	32.1%
民生費	7億2,225万円	14.8%
公債費	7億1,241万円	14.6%
農林業費	5億2,660万円	10.8%
衛生費	3億5,134万円	7.2%
教育費	3億4,487万円	7.1%
土木費	2億6,572万円	5.5%
消防費	2億1,558万円	4.4%
議会費	7,567万円	1.6%
その他	9,422万円	1.9%



( )は構成比%

用語解説

**地方交付税** 国が各市町村の財政力に応じて交付するお金

**町債** 金融機関や国、県などから借り入れるお金

**繰入金** 基金(町の預金)や特別会計などから繰り入れるお金

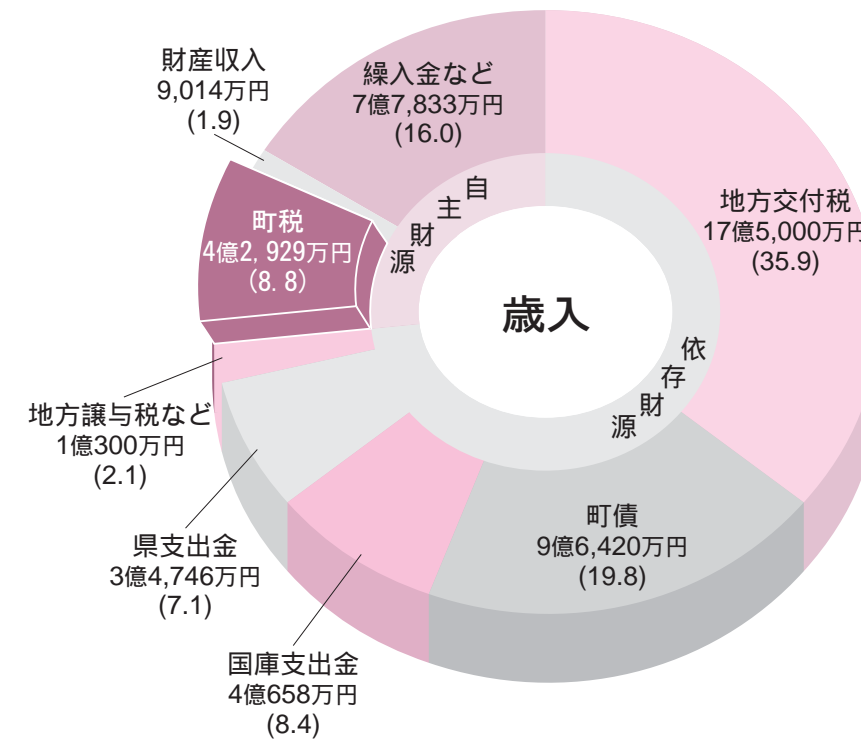
**扶助費** 児童福祉法や老人福祉法などに基いて被扶養者に支給するお金

**補助費等** 負担金や補助金、各種保険料など

**物件費** 賃金、旅費、事務用品の購入など

**繰出金** 他の会計に支出するお金

**税源移譲** 個人の負担額は基本的に変わらずに、所得税(国税)から住民税(町税)へ移し替えること



一般会計の総額は  
48億6,900万円

町税の内訳



前年度比28.9万円(0.3%)の増となります。  
公債費は町債の残高が減少していることから同じく2540万円(3.4%)の減となります。  
**歳出(目的別)**  
民生費では、障害者自立支援や児童手当の制度改正などにより前年度比3400万円(4.9%)の増、農林業費では強い林業・木材産業づくり交付金事業(7ページ参照)などにより同じく9337万円(21.6%)の増となります。  
一方、議会費では次の任期から定員が2人減ることなどにより前年度に比べ176万円(2.3%)の減を見込んでいます。

**総額**  
平成19年度の一般会計予算総額は、48億6900万円と、昨年度に比べ9億5600万円(24.4%)の大幅な増となりました。  
これは主に地域情報通信基盤整備事業(7ページ参照)の実施によるもので、これにより歳入では国庫支出金と町債が、歳出の性質別では普通建設事業費が、同じく目的別では総務費がそれぞれ大きく増加しています。  
このほかの歳入・歳出の特徴は次のとおりです。  
**歳入**  
歳入のうち町税は、税源移譲による個人町民税の増や、家屋の新増築による固定資産税の増などにより、全体で4796万円(12.6%)の増となります。  
しかし、税源移譲実施までの措置として、昨年度まで国から交付されていた所得譲与税(昨年度予算額4000万円)は廃止されます。  
**歳出(性質別)**  
歳出を性質別でみると、人件費では、町議会議員選挙など3つの選挙に伴い、職員手当などの増が見込まれるため、

# 育て



農業団体の法人化を支援します  
**担い手農業者経営支援対策事業費補助金(法人化支援)100万円**  
 従来の個人に対する新規就農支援に加え、法人化を希望する任意の農業生産団体を支援し、企業経営による合理的・効率的生産を目指します。

新たな特産品開発を支援します  
**農畜産物加工推進事業補助金 30万円**  
 町内の農畜産物を原料とした加工品を開発する経費に対し補助金を交付します。

森林環境教育を推進します  
**森林環境教育推進事業 439万円**  
 専門の嘱託職員を招き、自然学校の開設に向け、ホームページからの情報発信や都市部などへ出向いての情報収集、営業活動に取り組みます。

森林認証林の整備を支援します  
**F S Cの森整備事業費補助金 350万円**  
 私有の森林認証林の除間伐や枝打ちなどの経費に対し補助金を交付します。

耐震補強工事を実施します  
**有住中学校耐震補強工事 2,500万円**

木材加工施設の整備を支援します  
**強い林業・木材産業づくり交付金事業補助金 1億2,688万円**  
 木工団地の生産体制強化のため、木材乾燥のための高周波プレス機などの設備整備に対し、補助金を交付します。



町内全域に光ファイバーを敷設します  
**地域情報通信基盤整備事業 10億1,798万円**  
 テレビの地上デジタル放送に対応するため、町内全域に光ファイバーケーブルを敷設し、テレビ、高速インターネット、IP電話、防災放送のサービスを提供します。また、この回線を携帯電話事業者に開放して、通話エリア拡大を推進します。工事は来年3月までに完了し、4月からのサービス開始を目標とします。



IP電話 インターネット回線を利用して通話するサービスで、通常の電話より通話料が安くなる利点があります。



# 守る

環境への付加を軽減します  
**廃食用油収集システム構築事業 12万円**  
 家庭から排出される食用油をディーゼル車の燃料として再利用するため、回収する仕組みを構築します。  
**マイバック普及啓発事業 27万円**  
 買い物の際にカゴなどを持参する習慣を広め、ゴミの減量を図ります。

消防・防災体制を強化します  
**小股消防屯所新築 1,074万円**  
 老朽化した小股消防屯所を新築します。  
**地域振興無線機購入 315万円**  
 現在の防災無線を補完する連絡手段として無線機を購入し、有事の際の通信体制の強化を図ります。



行政改革を推進します  
**学校給食調理業務委託 2,200万円**  
 スリムで効率的な行政にしたいため、学校給食の調理業務を民間に委託します。

課財政係 問い合わせ 46 町づくり推進 2114

# 産み



結婚希望者を支援します  
**結婚対策事業 42万円**  
 ハピネスみた(結婚対策推進懇談会)が中心となり、結婚を希望される方への情報の提供や研修会の開催、出会いの場の創出などに取り組みます。

定住人口の増加を図ります  
**移住促進事業 12万円**  
 団塊の世代を含めた都市住民の本町への移住を促進するため、住宅の斡旋や就農支援などに取り組みます。

出産をお祝いします  
**出産祝い金(第3子~) 200万円**  
 「子育て支援プログラム」の一環として、第3子以降の子どもを出産された方に祝い金を交付します。



新制度への移行に対応します  
**後期高齢者医療制度対応システム改修 1,890万円**  
 平成19年度に現在の老人保健制度が廃止され平成20年度から後期高齢者医療制度が始まることから、保険料の徴収などのために必要なシステムの改修を行います。  
**後期高齢者医療広域連合分賦金 360万円**  
 制度を運営する岩手県後期高齢者医療広域連合(県内全市町村で構成)に対し必要な経費の一部を負担します。

## 今年の主な新規事業

## 町民1人あたりでみると

今年の予算は  
**72万7,000円**

町の人口6,697人  
 (平成19年3月31日現在)

### 収入

町が独自に確保できるお金  
**自主財源 19万3,800円**  
 町税 64,100円  
 財産収入 13,500円  
 繰入金など 116,200円

国や県などから入ってくるお金  
**依存財源 53万3,200円**

地方交付税 261,300円  
 町債(借金) 143,900円  
 国庫支出金 60,700円  
 県支出金 51,900円  
 地方譲与税など 15,400円

### 支出

	議会費 11,300円		総務費 233,000円
	民生費 107,800円		衛生費 52,400円
	農林業費 78,600円		土木費 39,700円
	消防費 32,200円		教育費 51,500円
	公債費 106,400円		その他 14,100円